

(中国乙14)
細菌性・アメーバ性赤痢
発生推移
= 2026年1月度 =

発表: 2026年2月9日 国家NDPCA

作成: 2026年2月12日
日中医療衛生情報研究所

細菌性・アメーバ性赤痢

- 患者発生のピーク期は夏場の7～9月
- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で月間発症者数の『過去最低記録』を更新。その後、2021年5月からまた過去最低記録更新始まり減少傾向に
2015年は138,917例、2016年 123,283例、
2017年109,368例、2018年 91,152例、
2019年 81,075例、
2020年 57,820例（コロナの影響？）
2021年 50,403例、2022年 35,951例、
2023年 37,114例、2024年は34,349例（確報）、
2025年 **30,626例（累計ベース）**に。

乙14：細菌性・アメーバ性赤痢

